

現場で働く介護職員 インタビュー 1



社会福祉法人 一期一会福祉会
特別養護老人ホーム
岩倉一期一会荘 花むすび
介護職員 6年目
「介護福祉士」



なかのこよ
中野 琴代さん (24歳)



小6のときから介護職が目標

小学校低学年のころ、障害のある子どものクラスと同級生たちと関わるのが好きでした。今思えば、その経験が私を介護の仕事に導いてくれたのかもしれません。子どもながらに福祉に興味を持ち、小学6年生のときの将来なりたい職業が介護職だったことは、はっきりと覚えています。中学に上がっても職場体験は介護施設。ボランティアとして施設のイベントを手伝ったこともあり、高校はもちろん福祉学科のある学校へ進学。卒業時に介護福祉士の受験資格を得て、試験に合格し、介護福祉士になったんです。

自分が必要とされている！

ここでの仕事は、ご利用者様の日常生活の支援。中には、体が思うように動かせないお年寄りもいらっしゃるのですが、大変なことは確かにあります。でも大変さを忘れるくらいやりがいもあるのが、介護の仕事です。施設では、ご利用者様と支援を通じてたくさんの時間を共有します。その中で、あまり笑わないご利用者様が笑顔になるなど、普段と違う一面を見せてくれるのは、信頼されているからこそ。「あなたがいてよかった」と言われる自分を想像してみてください。相手に必要とされていることが実感できる職場なんて、すてきだと思いませんか。

私のお気に入り



お気に入りは一人で過ごす時間。カラオケや温泉に行ったり、自分へのご褒美で買い物をしたり、一人の時間をすることがリフレッシュになっています。「明日からまた頑張ろう」と切り替えられるのはもちろん、そのときのことをご利用者様に話すのも楽しみです。

現場で働く介護職員 インタビュー 2



アサヒサンクリーン株式会社
在宅介護センター 岡崎



介護職員 1年目

そうだようき
左右田 洋輝さん (19歳)



介護職の母や友人の姿を見て

グループホームでデイケアの仕事に携わっている母が、いきいきと仕事に向かう姿を見て、介護の仕事でお年寄りの役に立ちたいと考えるようになりました。今は訪問入浴オペレーターという仕事をしています。自力での入浴が難しい人の自宅に出かけて入浴のお手伝いをする仕事。訪問先まで車を運転し、浴槽やホースなどの機材を運んだり、お客様を抱えて浴槽に入るのを手伝ったりするのが僕の役割です。

幸せそうな表情がうれしい

仕事で大切にしているのは、いつも笑顔でいる

こと。楽しい気分でお風呂に入ってもらいたいので、会話をすることも心がけています。幸せそうなお客様の表情が見られることは、この仕事をしていてうれしい瞬間。お風呂に入ることができて快適な気分は、話ができない人からも感じ取ることができます。体の大きな人を抱えたり、土砂降りの中で機材の準備をしたりするのは大変ですが、そんな苦労は吹き飛んでしまいますね。先輩もやさしいし、お年寄りとのふれあいも楽しい。介護職は僕にとってはすごくいい仕事です。介護職は大変という偏見を持っている人がいるかもしれないけれど、介護の仕事についてもっと知ってもらいたいですね。そして、もし機会があれば実際に体験してみてください。

私のお気に入り



愛車でドライブするのが楽しみです。運転が好きなので、車を使っての通勤も楽しい時間。休日には友人と伊良湖岬の辺りまで海を見に行ったりして、すこリフレッシュできます。カラオケで好きなアーティストの曲を歌うのも気分転換になりますね。